

宗教センターだより

幼稚園より

保護者・聖書を学ぶ会
5/24月 9:30～
6/11金 9:30～
10/5火 9:30～
11/30火 9:30～
終業礼拝
7/13火 11:00～
始業礼拝
9/3金 9:40～
おじいさま・あばあさまと一緒に過ごす会
9/17金 9:40～

保護者・聖書を学ぶ会

収穫感謝祭
11/15月 9:40～
創立記念礼拝
11/17水 13:30～
アドヴェント礼拝 I
11/26金 9:40～

（ 教論 石橋 エリ ）
--

初等部より

こどもの日・花の日礼拝
6/14月 8:25～8:50
初等部米山記念礼拝堂
1年生なかよしキャンプ
7/13火 17土
教職員退修会（修養会）
8/30月 31火
聖書週間特別礼拝
10/12火 8:25～8:50
初等部米山記念礼拝堂
となり人を覚える礼拝
10/27水 8:25～8:50
初等部米山記念礼拝堂
創立記念礼拝
11/15月 8:25～8:50
初等部米山記念礼拝堂
感謝祭礼拝
11/22月 8:25～8:50
初等部米山記念礼拝堂

（ 宗教主任 小澤 淳一 ）
--

中等部より

2年 裏磐梯キャンプ
3年 沖縄旅行
5/25火 28金


伝道週間
6/21月 25金
講師 関野和寛
（日本福音ルーテル東京教会牧師）

老人ホーム訪問
7/13火
特別養護老人ホーム「救世軍恵泉ホーム」
緑蔭キャンプ
8/4水 6金
高等部追分寮
CFワーク
9/2木 9:30～11:30
校内清掃
ホスピス訪問
10/21木 礼拝病院聖ヨハネ・ホスピス
創立記念礼拝
11/5金 8:40～9:20
青山学院講堂

（ 宗教主任 西田恵一郎 ）

WESLEY HALL NEWS

シリーズ
地の塩、世の光
初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。
ch.1:1 <i>The Gospel of John</i>
ヨハネによる福音書 第1章 1節

東後 勝明
東京YMCAインターナショナルスクール校長 早稲田大学名誉教授
ことばは神
言葉からあるものを取り除くと、ことばが成り立たなくなる。あるものとは一体何だろう。テレビのクイズ番組みたいだが、実はこのことが案外知られていない。答えは「声」。つまりすべての言語は話されているの、言語の実体は「声」、すなわち「音声」ということになる。それでは、その声はどこでどう出しているのだろう。いつもあまりにも自然に出ているので、とっさに聞かれても戸惑うかもしれない。
ことばは神
実はどのの奥に声帯と呼ばれる二枚の筋肉のひだがあり、それを振動させ、声は作られる。振動させるエネルギー源は「息」である。その息の源はと考えていくと命にたどり着く。そして命の源は神だとすれば、こんな図式が見えてくる。言葉＝(音声→息→命→)神と。そして

（ 教論 石橋 エリ ）
--

シリーズ・私の教会
file 56
Sancta Maria Catholic Kodaira Church
Onuma-cho Kodaira-shi, Tokyo

サンタマリアカトリック小平教会

宮澤 節生

大学専門職大学院法務研究科教授

私が所属するサンタマリア・カトリック小平教会は、西武新宿線小平駅から北東へ徒歩10分ほどの場所に位置しています。私は神戸から東京に転居した2000年10月から所属ですので、まだ新参です。

小平教会が建設されたのは1955年で、1957年に小教区として独立しました。そのため、2007年には50周年の祝賀会が、昨年12月に帰天された白柳誠一様機輦をお迎えして、田中隆弘主任司祭の下で行われました。

小平教会の土地と初代の建物は、付近に住んでおられた磯野義雄・悦子ご夫妻から東京大司教区に寄贈されたものでした。磯野氏は明治屋やキンピールの役員として活躍された方ですが、「磯野」という名前から何かを連想しませんか？そうです。「サザエさん」の磯野家のモデルと考えられているご一家です。

白柳様機輦は神学生当時から磯野家と交流があり、司祭叙階後の初ミサを磯野家でたてられたということもあって、堅信式などの機会によく小平教会を訪問されました。現在の主任司祭は古賀正典神父です。また、小平教会から果立った司祭としては、先日本学で講演された晴佐久昌英司祭と、川中 仁司祭がおられます。



が顔見知りですので、コミュニティとしての実質を十分に備えていると言うことができます。まだ50周年を少し超えたばかりとはいえ、教会の公式行事とは別の恒例行事も多く、信徒が交流する機会となっています。（なお、信徒による最近の著作として、川中なほ子「神を仰いで」（南窓社、2009年）があります。）

もし付近に来られることがあれば、ぜひお立ち寄りください。



〒187-0001 東京都小平市大沼町2-463-3
 電話: 042-343-9981
 ホームページ: http://members.jcom.home.ne.jp/st.maria/

すこやかに生きる

深谷 いづみ

女子短期大学 保健室

今、あなたは健やかに生きていますか？新しい出会いに心躍りつつも緊張し、多くの選択をしながら不安を乗り越えてきた新年度も一段落。心身に不調や疲れを感じている人もいます。新しい生活の中で、様々なトラブルに巻き込まれている人もいるでしょう。不調や問題を放置したり先送りしたりせず、自分の生活を見直し、自分自身や人とじっくりと向き合うチャンスとして、前向きにとらえてみてはいかがでしょうか。眠れない・不安で落ち着かない・過食がとまらない・意欲がわかない・どうしたらいいかわからない……。そんな人は、保健センター（保健室）・学生相談センター（相談室）・宗教センターでもサポートが得られます。

不調や問題は、多かれ少なかれ誰にでもあるものですが、学院に集う人の中には、病気や障害といわれるほどの重荷を負っている人も、親しい家族や友人を自死で失う経験をしている人も、大きな苦しみを抱えている人もいます。短期大学新入生の約1割が、入学前に精神科や心療内科を受診したりカウンセリングを受けたり、この一年に死にたくなることがあったりしたと回答しています。保健室で学生と出会う時、負わなければならない苦しみや世の闇の深さに慄然とし、生きていてくれて本当によかった、こ

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

自殺予防、特に遺族に対して

塩谷 直也

大学宗教主任

日本自殺予防学会所属

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

1998年より3万人を超えた日本人の自殺者数は、各方面の人々の努力にもかかわらず、一向に減る気配を見せません。しかもこの背後には10倍以上の未遂者がいるといわれています。もはや自殺予防は他人事ではありません。それは一部の専門家だけが関わればよい問題でもありません。自殺予防は「みんなの仕事」(Suicide Prevention is Anyone’s Business.)なのです。常に、あなたのすぐ隣に、この問題に苦しむ人が存在する可能性があります。「死にたい人は勝手に死ねばいい」とか「自殺は弱い人間のすることだ」などの言葉は、あまりに問題を表層でとらえており、努力したにも関わらず、愛する人を自死で失った人々の心をえぐります。

一般に1人の自死に対し、その周囲の5人以上が深刻なダメージを受けるといわれます。また自死遺族は故人を助けられなかったことに強い責任を感じ、自らを責め続

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

（ 注 ） イエスが弟子たちに教へ（マタイ6章）、その後世界中の教会が2000年間大切にしてきた祈り「天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるたまえ。我らをごころみにあわせず、悪より救い出たまえ。国とちからと栄とは、かぎりなくなんじのものなればなり。アーメン」（1880年版）
--

地の塩、世の光 THE SALT OF THE EARTH, THE LIGHT OF THE WORLD / MATT.5.13-14

WESLEY HALL NEWS

103RD EDITION MAY 17, 2010

ウエズレーホールニュース 第103号 2010年5月17日発行

説教

逃げないで

使徒言行録 第1章3節～11節

再会

復活された主イエスと共に過ごす40日間は弟子たちにとって、素晴らしい日々でした。十字架を前にして主イエスを裏切らなかった、見捨てなかった人は誰一人いませんでした。皆が主を置き去りにして逃げ去ったのです。羊剣いか打たれて居なくなった羊たちのように、弟子たちは散り散りばばらに逃げていきました。羊は独りでは生きられません。自己嫌悪、落胆、不安のうちにそれぞれ孤独にうずくまり、絶望していました。そのひとりひとりにご復活の主は出会って、いや、再会してくださいました。

空っぽの墓の外で、エマオ村へとトボトボ歩いていくその夕暮れの道で、逃げ帰った故郷のカリヤ湖畔で、主イエスは待っていてくださったのです。復活の主はひとりひとりにふさわしい時と場所と形で出会ってくださいました。そのために主は40日間を費やされました。聖書における40と言う数は出来事が完成、完結する事を表します。失われたきずなが主によって再び結び合わされ、彼らはエルサレムに戻ってきたのです。



吉岡 康子

女子短期大学宗教主任

不安

そのエルサレムで主イエスは今、弟子たちに別れを告げられます。主が天に帰られる。それは弟子たちにとって悲しいことでした。「イエスが離れ去って行かれるとき、彼らは天を見つめていた」とあります。主を見上げながら、彼らは置き去りにされ、見捨てられたような心細い思いがしていたでしょう。これからどうしたものかと心配になったかもしれません。主イエスは最後に言われました。「エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父の約束されたものを待ちなさい。」

されどエルサレムに留まるのは彼らにとっていやなことなのです。この街にはつらい思い出ばかりがあるからです。主イエスが捕らえられ、裁判を受け、十字架によって殺された場所です。その時、弟子たち全員が、あのユダだけでなく、独り残らず主を裏切った場所です。さらにはエルサレムに留まるのは危険でもありました。主の十字架からまだ一ヶ月あまりしか日がたっていないません。死刑に値するとされた犯罪人イエスの弟子に対する追求の手が伸びると十分に考えら

れるのです。出来るならば一日も早くエルサレムを脱出して、新天地でやりなおしたい、再出発したいと思うのが正直なところだったかもしれません。

しかし、主イエスは「エルサレムを離れるな」と言われたのです。逃げ出すな、そこにとどまれと言われたのです。嫌な思い出があるところ、傷ついた・傷つけられたその場所。しかし、そこから復活の証人として歩み出せと言われたのです。痛み、負目のある場所、人間関係、しがらみから逃げていても何も始まらない。あなたが倒れたその場所もまた主の復活の大地である、そこから生き始めなさいと主イエスは言われるのです。

派遣

とまどう弟子たちに主イエスは「約束されたものを待ちなさい」と言われました。すぐにでも逃げ出した、いや積極的な理由をつけられ、すぐにでも主のご復活を伝えるために、新しい場所に駆け出して行きたいとの衝動、焦燥感があるかもしれない。しかし

「エルサレムで約束を待つ」ことが大事なのです。神が備えてくださるものを待たずに走り出してはいけません。「約束されたもの」すなわち「聖霊を受ける時を待つ」のです。「待つ」事の大切さを聖書は繰り返し語ります。アドヴェント、レント、そして昇天日からペンテコステまでのこの期間、キリスト教会は「待つ」ことを大切にします。救いを待つのです。祝いの時、祭を待つのです。

さらには「待つ」期間、私たちはただ漠然と待っているではありません。器が空っぽでなければそこに新しいものを入れることが出来ないように、私たちは待つ間に、古いものを捨てます。空っぽになるのです。無力なものとなった時と場所こそ、聖霊＝神の力が満たされます。そのために、弟子たちはエルサレムから逃げ出しはならず、私たちもそれぞれのエルサレムから逃げ出しはならないのです。この場所から「わたしは世の終わりまで、いつもあなたと共にいる」との約束のうちに御復活の主と共に歩き出す時が今始まりつつあるのです。

特集 仲間を迎えて

Special Issue : Welcome new friends

ようちえんって どんなどころ？

What do you think about the kindergarten?



久 洋子

幼稚園教諭

新入園児のみなさん、ご入園おめでとうございます。幼稚園の年中組・年長組のお兄さんお姉さん、先生たちは、みなさんと幼稚園でお会いするのを楽しみにしていました。みなさんはきっと、これから毎日通う幼稚園って、どんな所かな・・・と、ドキドキワクワクしていることでしょう。そこで、幼稚園で1番大きい、ゆり組・きく組のお兄さんお姉さんたちに3つの質問をしました。

①幼稚園って、どんなどころ？

・たくさん遊んだり、礼拝したり、お祈りするところ ・おやつやお弁当を食べる ・チャボとかウサギがいる。あと、小鳥とか。

②幼稚園で何をすることが楽しい？

・友だちと一緒にブランコにのること ・積み木でうちとか基地とか作る ・ホールでうちごっこすること ・泥団子を作ること ・縄跳びをすること ・ぜんぶ楽し！

③もし、困ったことや、悲しいことがあったら、どうしたらいい？

・先生にお話したらいい ・年長さんが「だいじょうぶ？」って助けてあげる ・一緒に遊ぼうって言うから大丈夫。絵を描いてあげる ・怪我をしていたら、助けて、志和地先生(義護教員)のところに連れて行ってあげる ・けんかをしたら、泣かないでお話したらいい。

他にも、たくさん楽しいことの答えがありましたよ。そして、困ったことや悲しいことがあっても大丈夫。先生たちがみなさんの傍にいて、また安心して遊べるように、力になりますよ。お兄さんお姉さんたちもみなさんのことを大切に思い、守ってくれることでしょう。

幼稚園では、毎日、たくさん遊ぶことが出来ます。どうぞ、好きなことや、好きな場所や、好きな先生や友だちを見つけてください。先生たちは、みなさんがお父様やお母様と一緒に、幼稚園に来ることを楽しみにしてきてほしいなと思っています。

そして、青山学院幼稚園が一番大切にしていることは、神様イエス様を信じる気持ちです。毎日、お祈りをして、神様とお話をします。讃美歌を歌います。新入園児のみなさんが、この幼稚園で3年間、神様の子どもらとして、心も身体も大きくなっていくことを、何よりも願っています。

Welcome to the elementary school

Walking with God through the elementary years



野呂 道子

初等部2年

一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。しょうぶではれいはいを大じにしています。せいしよをよんだり、さんびかをうたったり、先生にイエス様についておそわったりもします。れいはいはイエス様とおはなしするじかんです。イエス様とおはなしすると、一日が気持ちいいです。

なつ休みにはなおよしキャンプがあります。なおよしキャンプでは、みなさんいくまえばさびしいかとおもいますが、いってみるとすごいたのしいです。一日目のキャンプファイヤーでは、れいはいのおざわ先生が青山学いんのマーク(しんこうのたて)のいみをおしえてくださいます。それからぶちよう先生にせいしよをいただきます。ランチョンはとくべつおいしいです。ランチョンとはきせつにあわせたお祈りがたべられます。のこさずいただきますよう。たべものもようぶくもどもだちも、みんな神様のおめぐみです。

一年生のみなさん、いっしょにイエス様のことをたくさん学びましょう。しょうぶはたのしいですよ。



鈴木 建

初等部6年

新入生の皆さん、初等部生活はどうですか。ぼくたちは、パートナー学年として、皆さんのお世話が出来るのを、楽しみに待っていました。

青山学院は、命をかけて神様を伝えた宣教師の先生方、信仰によって建てられた、ミッションスクールです。長い歴史の中で神様の愛と、多くの人の祈りによって守られてきました。ぼくは、毎日の礼拝や聖書の授業、宗教行事を通して、神様と出会うことができました。また、教会に通うことで、家族のようなつながりが与えられる恵みを受けました。皆さんも、教会に通い、毎日お祈りをして、神様と出会うして下さい。

初等部の先生方は、児童一人一人をかけたがえのない神様の子供として、いつも大切に見守っていて下さいます。また、クラス・学年を越えての行事や宿泊が多いので、学校のみんなと仲良くなれます。信頼できる友達もたくさんできます。

初等部で学ぶことで、ぼくは、人も自分も神様の作品として創られた大事な存在だと知りました。「地の塩・世の光」として、与えられた賜物を、世のため、人のために生かす、生き方の土台を築いてくれるのが初等部です。これから始まる初等部の生活の上に、神様の豊かな祝福とお守りがありますように、お祈りします。



宗教センター関係グループ合同交流会(大学)



新入生の皆さん、青山学院での生活はいかがですか。各部の方に、新しい仲間に向けた言葉を頂きました。

心のデトックス

Detox for the heart



深石 純子

中等部養護教諭

新入生の皆さん、入学して1ヶ月、学校生活はどうですか?楽しいこともある反面、新しい生活に戸惑うことも多くあると思います。これからお話することは、困ったこと、嫌なことがあった時に皆さんがどうしたらよいかということ。心も風邪をひくように、心もかぜをひくことがあります。そんな時どうしたらよいかというお話です。

中等部には専任の先生方が37名、事務の方が7名、その他非常勤の先生方が大勢います。とりあえず、わからないこと、困っていることがあったら、あなたが話しやすい人にはまずは話してみましょう。その時、きちんと順序立てて説明できなくてもいいのです。誰かと話しているうちに気持ちの整理がつくことは、大人でもよくあることです。あなたが一人で困っている時、悩んでいる時、それをわかってもらうにはやはり、言葉が必要。先ほど、話す相手は「あなたが話しやすい人」と書きましたが、私は誰でもいいと思っています。担任の先生でもいい、クラブの顧問の先生でもいい、教科を教えてもらっている先生でもいい、図書室の先生でもいい、中等部にはカウンセラーの先生もいます(もちろん保健室でも)。

それから「完璧を目指さない」ということもお伝えたいと思います。友達も親も先生も、誰も完璧な人は

いません(いたら教えて下さい)。私たちはイエス様のような広い心を持っていか、毎日聖書を開き、礼拝を守っているのです。

怒りを我慢すると、爆発します。「嫌だなあ」と思う気持ち、腹が立つことはいくらでもあります。ですが、それを否定したり、「自分はそんなに怒ってない」と思ったりすると、それが体に出してしまいます。私は体調が悪くてよく保健室に来る生徒に「嫌だなあって思っていることない?」と聞くことがあります。学校で体調が悪くなり、よく保健室に来る生徒ほど、この質問に答えられません。そうい生徒が「こういことが嫌だ、あいうことが嫌だ」と言えるようになると、半分治ったようなものです。

愚痴を言えるというのはある意味、健康です。怒り等のネガティブな感情を押し殺してしまうと、だんだん自分が何に怒っていたのか、何にかっかりしたのかわからなくなってきて、理由はわからないけど心の中がモヤモヤする、とにかくつらいという状況になってしまいます。そして、押し殺していたはずの感情はいつか爆発してしまいます。

「デトックス」という言葉を知っていますか?「解毒」という意味ですが、心にもデトックスが必要。中等部のカウンセラーの牧野先生は「私たちは人から毒を投げられたり(嫌な言葉を聞いたり)することがある。そういう時にその毒を丸呑みするのではなく、飲み込まずに吐き出す方法を知っておかないとね」とおっしゃっています。確かに嫌なことはたくさんあるけれど、切り替えが上手にできれば乗り切れることもある、そう思います。

皆さんも自分なりのデトックスの方法を身につけて、快適な学校生活を送りましょう。そのための手助けができる中等部でありたいと思っています。

あなたにとって礼拝とはどのような時間ですか? What is worship for you?



脇屋 新

高等部3年

あなたにとって“礼拝”はどのような時間ですか?

本校の幼稚園や初等部・中等部などから高等部に入学したあなたにとってはとても身近なものでしょう。ですが、キリスト教主義の学校ではない学校から高等部に入学したあなたにとってはよく分からない時間かもしれません。

青山学院は、“礼拝”の時間を大切にしている学校です。“礼拝”という単語を聞くと、なんだか宗教的で抵抗がある人もいるのではないかと思います。ですが、そんなに難しく考えなくて大丈夫です。“礼拝”は神様と自分が一対一になって過ごす、一人の時間だと思ってください。

僕にとって礼拝という時間は、讃美歌を歌い、聖書を読み、神様の教えを知り、お話を聞いて、その過程が自分をリセットし、新たな気持ちへと入れ替える時のような気がします。僕は自分で言うのもなんですが、自我が強くなり、なかなか意思を曲げられないところがあります。ですが、この礼拝という時間を過ごしている時だけは他の考えを吸収することができています。ですから、礼拝の時間を持っているときだけは自分の考えが変化している気がしています。

人は一人では生きられません。他者と影響を及ぼしあうことによって生きていきます。そのためには他者の考えを知り、自分の生き方を見直す必要があります。自分を見直す時間を与えてくれるのが礼拝なのです。日常生活では他の人のメッセージや考えを聞く機会を得ようとしてもあまりないと思います。ですが私達は毎日チャンスを得ています。そのチャンスを是非、生かしてください。きっと大きな財産となるでしょう。見えるものだけではなく、見えないものも信じてみてください。そして、自ら求めてください。そうすれば与えられるはずですよ。

最後に“WWJD”この4文字を皆さんへ贈りたいと思います。先日、僕は礼拝で新しいものを得ることができました。それはWWJDという4文字です。これは“What Would Jesus Do?”の頭文字で「イエス・キリストならどうするだろう?」という意味です。困ったときにはこの4文字を思い出し見てください。きっと役に立つはずですよ。それでは楽しい高校生活を。あなたに幸多かれ。

宗教センターだより

高等部より

特別礼拝

6/2水 10:10 青山学院講堂 証し・賛美 大和田広美 (本郷台キリスト教会)

伝道週間 6/14-18金 青山学院講堂 説教 大嶋重徳(キリスト者学生会主催)

グリーンキャンプ 7/22木 24土 高等部追分寮

秋の伝道週間 10/25-29金 青山学院講堂

創立記念礼拝

11/17水 10:10 青山学院講堂

保護者聖書の集い 具体的な日時は「高等部便り」でお知らせ致します。

(宗教主任 坂上三男)

女子短大より

チャペルウィーク 5/17月 21金 女子短期大学 礼拝堂他

公開授業 5/17月 10:35-12:00 女子短期大学L402教室 講師 藤掛明 (聖学院大学総合研究所カウソングラフ研究センター准教授、臨床心理士)

宗教講演

5/19水 12:30-13:20 女子短期大学礼拝堂 講師 恵子・ホームズ(アガペ主宰)

チャペルコンサート 5/21金 12:30-13:20 女子短期大学礼拝堂 演奏 佐々木冬彦(ハープ奏者)

サマー・キャンプ・イン軽井沢

7/31土 8/2月 中軽井沢寮 講師 豊川慎(短大兼任講師)

ランチタイムtalk

10/5火 12:30-13:20 女子短期大学礼拝堂 講師 多和田信(盲導犬訓練士)

創立記念礼拝

11/12金 12:30-13:00 女子短期大学礼拝堂 説教 ジューストポール(学院宣教師・大学宗教主任)

(宗教活動委員 秋富創)

大学より

チャペル・ウィーク(前期) 青 山 5/24月 28金 相模原 5/24月 29土

各界で活躍しているクリスチャンの方に礼拝でお話をさせていただきます。

ジョン・ウェスレー 回心記念日礼拝・ペンテコステ礼拝

5/24月 10:30- 相模原-青山 19:30- 5/25火 第二部

パッサ・コレギウム・ジャパンコンサート

7/1木 18:30- ガウチャー記念礼拝堂

清里サマー・カレッジ

8/5木 7土 大学ハクモ寮

チャペル・ウィーク(後期)

青 山 10/18月 22金 相模原 10/18月 23土 各界で活躍しているクリスチャンの方に礼拝でお話をさせていただきます。

創立記念礼拝

11/16火 相模原-青山・第二部 (宗教センター事務局 尾崎誠)

本部より

学院創立136周年記念礼拝

11/15月 14:00- ガウチャー記念礼拝堂

Art クリスマス Aoyama

11/26金 12/17金 短大 キャンパス他

クリスマス・ツリー点火祭

11/26金 相模原キャンパス16:30 青山キャンパス 17:20 全学院の礼拝として行います。どうぞご出席ください。

(宗教センター事務局 尾崎誠)